

(様式2(1))

事業所名:有馬温泉郷グループホームくらく園

作成日: 令和 7年 7月 4日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	問題なければ早期に会議の再開を行う	まず地域包括、主治医と連携し開催していく	2～3ヶ月
2	7	虐待の防止の徹底	職員への周知徹底を明確化する(隠れ虐待を防ぐ)	職員が行っているケアが虐待に成りうる可能性があることの認識の徹底。(腕などを強くつかんだ時に青あざができる。移乗の際に知らず知らずに車イスの足置きやベッド柵にぶつかっている等)	3ヶ月
3	6	身体拘束をしないケアの実践 研修の実施記録の整備	職員への周知徹底を明確化する	研修記録をファイルなどに整理しているが申し送りノートにも記載していく	3ヶ月
4	35	災害対策	年2回の災害訓練の実施	避難訓練などの方法を検討※。(全員参加から特定人数の参加へ) ※認知症の進行で指示が理解できない入居者が増えてきているのでその対応を考慮し非難の方法を考える。	4ヶ月
5	8	権利擁護に関する制度の理解と活用	職員にも一定レベルの知識を習得できる機会を設ける	ミーティングや会議において理解していくように努める	10ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。